



Corporate Profile

NETの社是・理念

- 自然の摂理の系内組み入れ
- 生物処理が最も合理的
生物処理で除去可能な
基質の完全除去
- 新用途分野開発

- 繊維産業のポテンシャル活用
- 素材・処理条件 組み合わせ
↓
適性条件
- 各種廃水・ニーズへの適応

自然の
摂理に
従い

禮を盡くし



徳を成す

信を得

水環境の維持 改善
水資源の活用
||
生活水準の向上

- 顧客満足度の高い技術提供
- ニーズ、用途にマッチした良好な水質
- 対投資効率が高い
- 長期間安定使用メンテナンスフリー

自然への積極回帰技術による、
夢の実現がNETの目標です。



NET株式会社 代表取締役社長
小山 登一郎

高効率処理

BF-AO法による1級A完全クリア

処理フロー



設定条件

能力55m³/日

水質(単位:mg/L)

項目	原水	水質(1級A)
BOD	100~300	10以下
SS	100~300	10以下
NH ₄ ⁺ -N	—	5以下
T-N	—	15以下



中試プラント全景

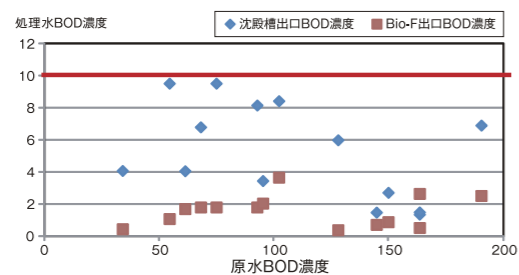


処理水(沈殿槽出口)

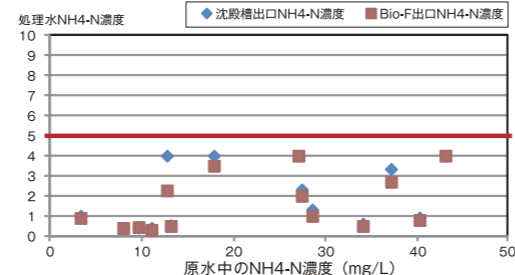
処理結果

(—は1級A基準を示す。HRT:1.9h/嫌気槽)

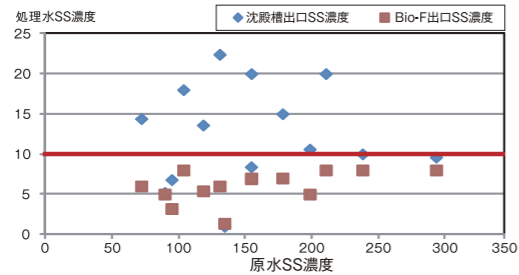
BODの原水濃度と処理水濃度



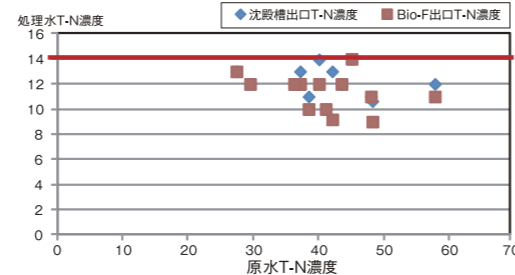
NH₄-Nの原水濃度と処理水濃度



SSの原水濃度と処理水濃度

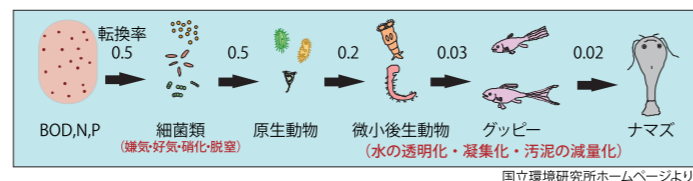


T-N原水濃度と処理水濃度



汚泥消化

製菓工場の例



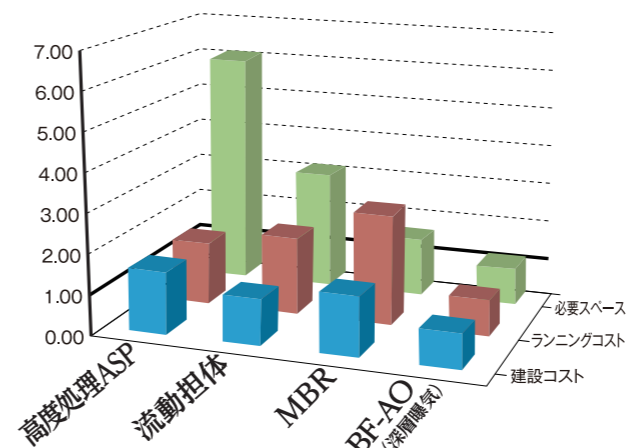
BF導入前後の廃水量、廃水水質の比較

	流量 m ³ /日	原水水質				処理水質				MLSS
		BOD	COD	SS	n-H	BOD	COD	SS	n-H	
導入前 (加圧浮上処理前)	450	1180 (967)	767 (645)	325 (29)	162 (9)	1以下	39	31	2以下	6030
導入後	538	2100	378	342	269	3	11	9	1以下	11200

BF導入前後の汚泥転換率の比較

導入前(加圧浮上汚泥含む) **65%** 導入後 **5.1%**

高Q,C,P(Quality & Cost Performance)



コスト(低→高)
BF-AO < 高度処理ASP < 流動担体 < MBR法

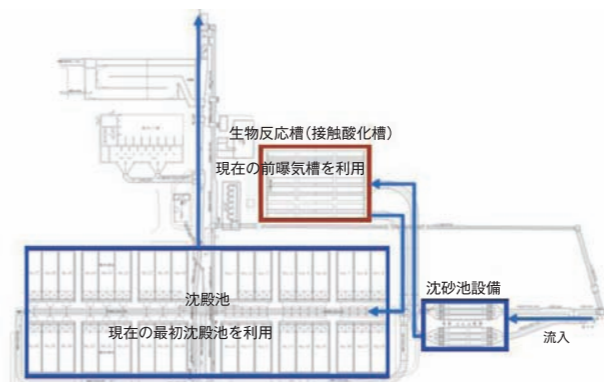
水質(良→不良)
BF-AO ≥ MBR法 > 流動担体 > 高度処理ASP

BF-AOは生物処理で取れる混入物は取り切る

MBR法との組み合わせによるハイブリッド効果(本来の沈殿槽に戻る)

東日本大震災津波被災緊急対策

南浦生浄化センター(仙台市下水の70% 30万m³/日) 短期対応



接触酸化ユニット



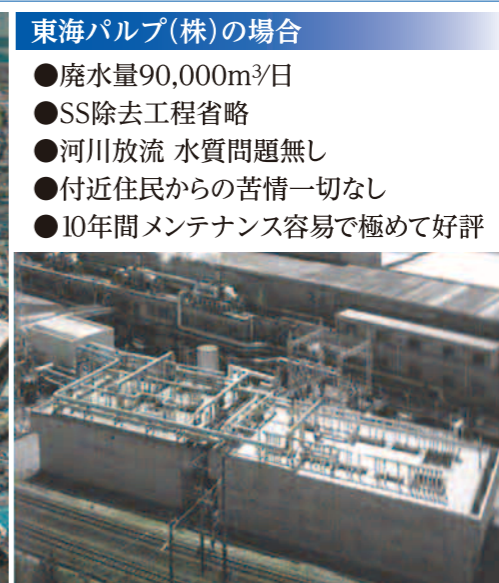
接触酸化槽

高負荷SQ処理 BOD:200→60mg/L
海域汚染防止
BOD槽容積負荷13kg・BOD/m³日
(材容積負荷17kg・BOD/m³日)

革新ビジネスモデルの成功例



東海パルプ(株)全景



廃水処理場

東海パルプ(株)の場合

- 廃水量90,000m³/日
- SS除去工程省略
- 河川放流 水質問題無し
- 付近住民からの苦情一切なし
- 10年間メンテナンス容易で極めて好評

革新ビジネスモデルの成功例

パナソニック



朝日食品



豆腐廃水、BF充填後能力×3倍、汚泥減消

食堂廃水、一過処理、メンテフリー

ポートルー



←ポートルーBF
充填前
↓ポートルーBF
充填後

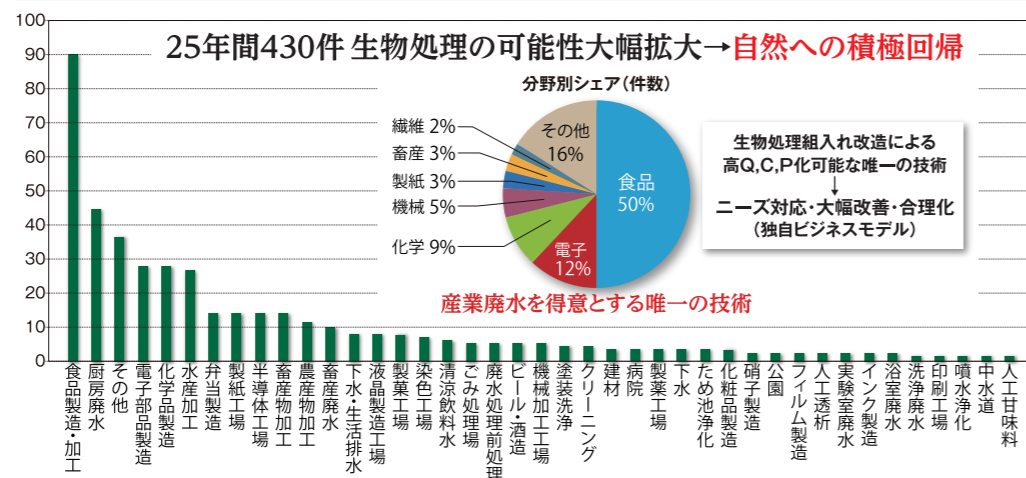


N-hex 500mg/ℓで上部に大量スカム
BF充填により解消、鶏解体廃水(SBR式)

国外

- 中国**
 - 長興島韓国造船所(生活汚水、1級Aクリア)
 - 郷鎮(大連、南京)
 - 大連京都庵、青島亀田製菓)
 - 食品
 - ハルピン森永乳業
 - 大連バドワイザー
 - ビール
 - 半導体、液晶
 - 電子
 - 広州製紙(OD改造)
 - 製紙
 - BMW瀋陽
 - 自動車、水性塗料
- インド**
 - ヤマハ発動機
 - 自動車、水性塗料
- 台湾**
 - 液晶、半導体
 - 電子
 - 松喬
 - 製紙
- マレーシア**
 - 花王マレーシア
 - 界面活性剤
 - 養鶏
 - 畜産
 - 埋立地滲出水
 - 廃棄物

分野別納入実績



会社沿革

- 昭和63年 9月/創業者の繊維加工技術と水処理技術の複合化活用及びこの仕事関連の協力者でのネットワーク展開を目指して設立
- 平成元年 11月/三菱商事株式会社囑託契約「ダイヤパイプミキサー」の商品化を実施、更に廃水処理ユニット「DIA P&F」の開発等を担当、同時に「揺動床バイオフィリッジ」を開発
- 平成 4年 4月/「揺動床バイオフィリッジ」を発売
- 平成 6年 7月/囑託契約解除、新たに三菱商事代理店契約締結
- 平成10年 5月/「バイオフィックス」開発開始
- 平成13年 9月/事務所移転、IT化対応を計る
- 平成14年 6月/「バイオフィックス」製造設備設置
- 平成14年10月/熊本大学教授工学博士 古川 憲治先生と技術コンサルタント契約を締結
- 平成15年 5月/インキュベーション開発センター開設
- 平成16年 6月/関連会社「FK環境イノベーション株式会社」設立
- 平成17年10月/中国大連事務所開設
- 平成18年 8月/FK環境イノベーション(株)大阪営業所閉鎖
- 平成18年10月/「バイオフィックス」生産開始
- 平成19年 8月/中国水処理市場へ本格参入
- 平成19年 9月/経営革新計画を兵庫県より取得
- 平成20年 4月/循環硝化脱窒、脱磷技術実用化レベル達成 中国下水道に本格参入 国内大手下水道で検討開始
- 平成20年 7月/大連理工大学教授 楊 鳳林博士、同済大学教授 李建華博士と技術コンサルタント契約を締結
- 平成22年 7月/大連理工大学楊教授 社外重役就任
- 平成23年 3月/熊本大学古川教授とのコンサルタント契約解除
- 平成23年 6月/中国大連事務所刷新 本格営業展開開始
- 平成24年 2月/中国大連事務所閉鎖
- 平成24年 5月/中国広州水務と提携開始 北京連絡所新設
- 平成25年 2月/バイオフィックス生産中止

会社概要

- 設立/昭和63年9月20日
- 資本金/1,000万円
- 事業内容/1)「揺動床バイオフィリッジ」の製造販売
2)各種水処理用繊維製接触材、資材の企画、開発、製造、販売
3)水処理装置の企画、製造、販売
4)その他水処理技術、繊維加工技術相互活用商品の開発、商品化
- 取引銀行/ 尼崎信用金庫 多田支店、りそな銀行 川西北支店、三井住友銀行 川西支店、三菱東京UFJ銀行 伊丹支店
- 主要取引先/ 株式会社西原環境、エンバイロピジョン株式会社、東レ・テキスタイル株式会社、オルガノ株式会社、株式会社近畿環境技術センター、倉敷紡績株式会社、寿化工機株式会社、寿環境機材株式会社、有限会社三朋、水道機工株式会社、株式会社タクマ、巧水機株式会社、ダイキアクシス株式会社、トーセン株式会社、ドリコ株式会社、化工機プラント環境エンジ株式会社、株式会社バイオセル、野村マイクロサイエンス株式会社、パナソニック環境エンジニアリング株式会社、三鈴工業株式会社、三菱化学エンジニアリング株式会社、三菱化工機株式会社、三菱商事株式会社、三菱電機株式会社、三菱レイヨンエンジニアリング株式会社、和光技研株式会社、株式会社神鋼環境ソリューション、JFEエンジニアリング株式会社、エコ和歌山株式会社、コンドーFRP工業株式会社、荏原環境エンジニアリング株式会社、株式会社東エンジニアリング、株式会社エイブル、関西ピー・ジー・エス株式会社、昭和環境システム株式会社、大日本インキ環境エンジニアリング株式会社、轟産業株式会社、株式会社日立プラントテクノロジー、フジクリーン工業株式会社、コースイ、ITCグリーン・アンド・ウォーター、タオプランニング(株)、岩崎アキュア技研(株)、(株)MCP
- 所属団体/ 一般社団法人海外水循環システム協議会(GWRA)、一般社団法人日中経済協会、公益社団法人関西経済連合会



エヌ・イー・ティ株式会社

ホームページ検索キーワード: **BFQCP**

URL: <http://net-bio.jp/>
E-mail: koyama@net-bio.jp

本社

〒666-0115 兵庫県川西市向陽台3丁目6番216
TEL.072-792-5151(代表) FAX.072-793-1351

北京連絡所

金州环境集团股份有限公司 总裁特别助理/景 星
北京市朝阳区大屯路风林绿洲18号楼A座15层
TEL.86-10-5165-4888 FAX.86-10-6483-6161

分析センター

〒533-0032 大阪市東淀川区淡路3丁目13番21号
(株)近畿環境技術センター内
TEL.06-6321-2362(代表) FAX.06-6323-5297

